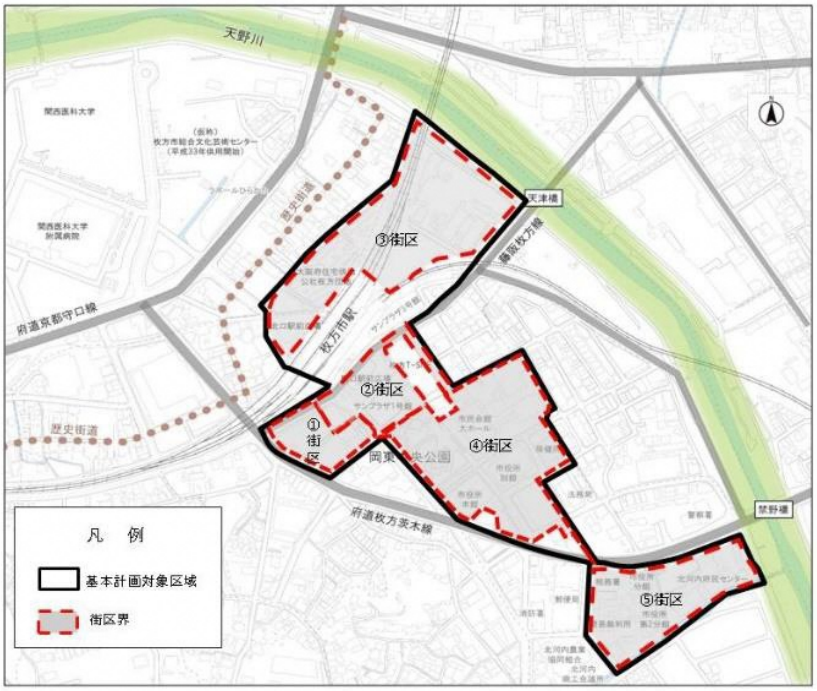
定例記者会見　案件2

令和２年８月 31 日

本格始動！市駅周辺再整備

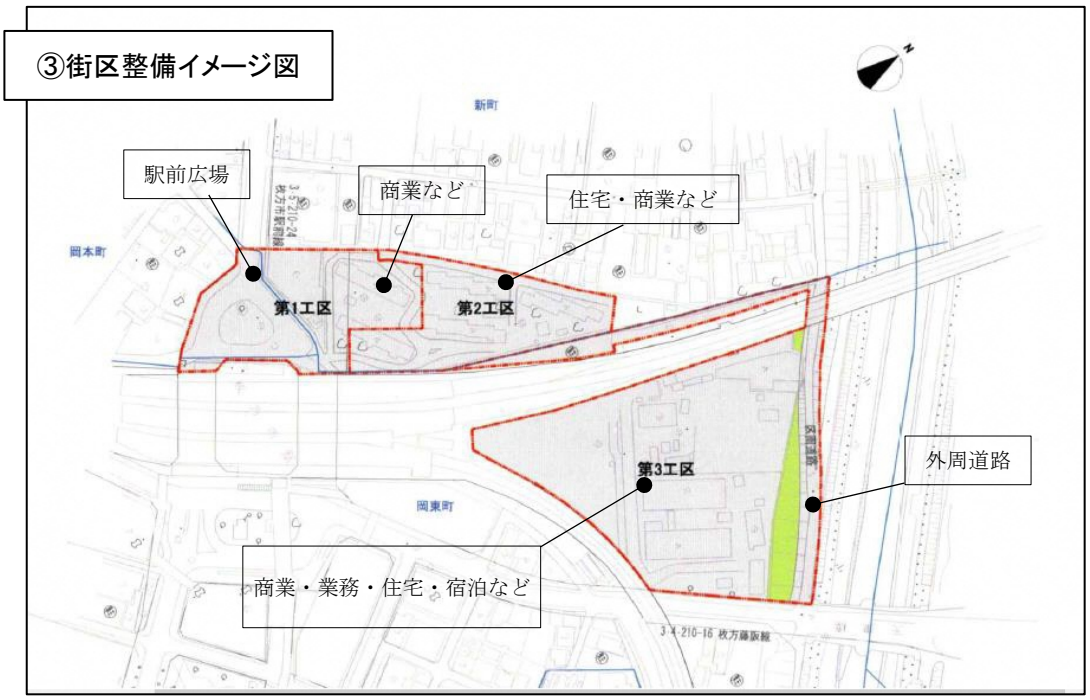
ホテル誘致へ税優遇措置 １月から解体工事

枚方市駅周辺再整備がいよいよ本格的にスタートを切る。５つある街区のうち北口側の③街区が来年１月から解体工事に着手する。駅前の「顔」となるホテルを誘致するため５年間の税優遇措置を行うことを決め、再開発組合への補助金も増額する。コロナ禍に伴う景気後退という厳しい社会状況の中、枚方の未来を担うまちづくりの最重要課題を着実に推し進めるため、スピード感をもって取り組む。



★市駅周辺の再整備計画は平成 25 年に策定した再整備ビジョンに基づく。前回の再開発からすでに 45 年が経過し、「人を中心としたまちづくり」を将来像として、まち全体にゆとりを持たせ回遊性の向上を目指している。ビジョンの対象区域は現在建設中の総合文化芸術センターや関西医科大学を含む新町２丁目から、税務署や郵便局などがある官公庁団地までを含む約 40 ヘクタール。平成 30 年に取りまとめた再整備基本計画（素案）では、このうち重点的に整備を進める５つの区域（計 13 ヘクタール）を設定している（**上図**）。総事業費の概算は約 774 億円で、うち市の負担額は約 236 億円を見込む。

★今回、先行的に整備がスタートする③街区は枚方市駅の北側に当たる。民間活力の導入により商業、宿泊、業務および住居などの機能や市駅北口駅前広場の拡充を目指し、地権者などにより３月に設立された組合が再開発事業を実施する。



ホテル誘致へ固定資産税などを５年間優遇

★駅前のにぎわいづくりのためのバンケット付きホテルの誘致に力を入れる。新たな都市機能として長期的に安定した事業継続が可能となるよう、原則５年間、固定資産税および都市計画税等の相当額を支援（経営状況によっては延長可）。具体的手法は今後検討する。

再開発補助金を増額

★コロナ禍に伴う景気後退や観光・消費の停滞、資材の高騰など事業実施に対して厳しい状況となる中、計画通り事業を推進するため組合への再開発事業補助金を約 18 億円増額。計約 68 億円とする（国と市が各２分の１を負担）。

★うち市増額分は９億円で、市負担額は約 75 億円となる。

※その他、コロナ禍対策として民間事業者によるまちづくりを支援するよう、新たな国単独補助金の創設などの要望も行う。

＜問い合わせ＞　市駅周辺等まち活性化部　電話 072-841-1364　FAX 072-841-3039